



真龍小便り

【学校の教育目標】
 ☆心と体をきたえる子
 ☆美しい心をもつ子
 ☆考えて行動する子
 ☆生き生きと学ぶ子

No.10 令和3年11月30日発行

積み重ねる

校長 佐野 哲 哉

ドアをあけると一面白い霜の世界。駐めている車も全身霜におおわれ、凍えているようです。厚岸でも先日 雨交じりの雪が降りいよいよ季節は冬。これから雪が降ったり、とけたり、凍ったりを繰り返しながら、厳しい冬に心も体も備えていきます。外遊びやマラソンの取組でにぎわいをみせたグラウンドは、今では少人数がサッカーに興じているくらい。雪降る前の静けさというところでしょうか…。

いよいよ師走を迎え、昨年に引き続きコロナ対応に追われた今年1年を子どもの成長の視点で振り返り、今後身につけるべき力の育成に向けて必要な教育活動を継続していきます。今年度も本校では、あいさつの「あ」、そうじの「そ」、べんきょうの「べ」の「あ・そ・べ」を学校生活の軸にして、子どもが自分の未来を切り拓いていく「生きる力」の育成を重点に教育活動を進めてきました。登校時の先生方による個々の子どもへの声かけや生活委員会のあいさつ運動等の取組の成果として、昨年に比べると「進んで、いい声、いい表情のあいさつ」が交わされるようになりました。中には、立ち止まって深々とお辞儀をしてあいさつする子もいます。「気持ち」を感じるあいさつが増えていることに子どもたちの心の成長を実感しています。一方で、少数ではありますがあいさつを返せない子もいます。照れくささなのか、関わりを避けたいのか、そこにも子どもの「気持ち」が内在しています。人と人が気持ちよく心を通わせるあいさつの必要性や大切さをこれからも伝え、様々な学習の機会や人とふれあう場面を生かしてあいさつの心を育てていきます。

昨年度からスタートした「縦割清掃」にも子どもたちの大きな成長が見られます。1年生から6年生の子どもが一緒にそうじに取り組む中で、高学年のリーダーシップや下級生を思いやる気持ち、中学年のフォローシップ（リーダーを補佐する意識）と下級生への指導や声のかけ方、低学年の役割意識や責任感、上級生への信頼感など。そして、清掃班のチームとしての自立心や仲間意識が育っています。これからも自分のがんばりや仲間のがんばりを認め高め合いながら、進んで働く意識や協力する気持ち、そして、人の役に立つことに進んで取り組む態度を育てていきます。

学習面では、日々の授業を充実させて子どもの「できた!」「わかった!」の納得感や達成感を学ぶ意欲に高めていくため、本校の先生方で現在進めている「授業改善」に向けた校内研修をより深めていきます。また、家庭学習の取組を充実させて勉強する習慣を身につけ、勉強することの意味や楽しさ、そして自己の成長に気づかせていきたいと思えます。朝読書や朝学習の取組の充実を図るとともに、放課後学習の個への対応を工夫したり、昨年からのスタートした基礎学力テストでは、テストの結果に応じて補充指導を設定するなど、その学年で身に付けるべき知識や技能の確実な定着を図ったりして、子どもの「学びに向かう力」を育てていきます。

今年、米大リーグで活躍し数々の賞を受賞した大谷翔平選手は「練習の虫」といわれています。MVP受賞の記者会見でも、彼の言葉は来季を見据えていました。「来季も活躍できるようにいい準備をしたい」と語る未来志向の彼は、シーズンオフの今も体作りに余念がないといえます。日本ハム選手時代、試合で釧路を訪れた彼は、試合後、他の選手と帯同することなく釧路のとあるジムに一人でふらっと現れ、マシンで汗を流していました。「練習はウソをつかない」。地道な練習の積み重ねが、非凡な彼の才能を開花させ現在の活躍につながっているのだと思います。日々の地道な取組や実践を大切に積み重ねて、本校の子どもたちが人として豊かに成長していくよう、教職員力を合わせて教育活動の質の向上に努めます。

日	曜	12月の主な行事
1	水	短縮日課 厚岸町標準学力調査 風邪調べ開始 委員会⑩
2	木	保護者面談② 配本日
3	金	保護者面談③ 校内作品展撤去
4	土	
5	日	
6	月	講話朝会 保護者面談④ 真小の約束振り返り 学校評価×切 避難訓練(火災) 毎日ストレッチ開始
7	火	短縮日課 保護者面談⑤
8	水	短縮日課 放課後学習
9	木	中休み読み聞かせ(2年) 保護者面談⑥
10	金	生きがい大学(4年生交流) 全集中の日学年設定最終日
11	土	
12	日	
13	月	児童朝会⑧
14	火	短縮日課
15	水	短縮日課 委員会⑪
16	木	真龍中1日入学②
17	金	短縮日課 スクールカウンセラー来校 第2回校内研究会(指導主事訪問)
18	土	
19	日	
20	月	大掃除週間(~24日)
21	火	短縮日課 クラブ⑥(最終)
22	水	短縮日課 放課後学習
23	木	
24	金	交通安全指導日
25	土	
26	日	
27	月	講話朝会 後期第1ステージ終了
28	火	冬季休業開始(~1/17) 厚岸町子ども☆未来ミーティング
29	水	学校閉庁日
30	木	学校閉庁日
31	金	学校閉庁日

「ながら見守り」のお願い

児童の下校時刻に合わせて、また夏冬休み中は日中家の外に出て、庭作業や掃除などを行いながら、同時に児童の見守りを行う「ながら見守り」への協力お願い致します。

いじめアンケートの結果から

10月に今年度第2回目のいじめアンケートを行いました。今回も「あなたは、嫌な思いをしたことがありますか」という質問をする形で行われました。このアンケートの結果、

「4月から嫌な思いをしたことがある」
→43人(第1回目41人)

また、その内訳は、

冷やかしゃやかからかい、悪口をいわれる	18人
仲間はずれや無視をされる	11人
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたりする	10人
ひどくぶつかられたり、たたかれたり、蹴られたりする	9人
お金や持ち物をかくされたり、いたずらされたりする	1人
恥ずかしいことや危険なことをされたり、させられたりする	2人

その内、今も嫌な思いをしている⇒18人という実態でした。

このアンケートをもとに、担任が全ての子どもと個別の面談を行い、「どんな嫌な思いをしたのか」聞き取りを行い、指導を行うなどの対応しています。更に校内いじめ防止対策委員会で、個々のケースを取り上げ、情報共有を行い、それぞれの事象の解決に向けた取り組みを進めています。

このように、学校では、早期解決に向けて、担任が「嫌な思いをした子」と「嫌な思いをさせた子」の話に耳を傾け、継続的に目を配るとともに、きめ細かく様子を見ています。

一方で、このアンケートで「はい」と答えた子は、学級の中の居づらさを間接的に表しているという視点でとらえ、積極的な児童理解につなげています。

宿泊体験学習実施

11月11・12日に5年生が宿泊体験学習を行いました。本来であれば、9月30日～10月1日を予定しておりましたが、緊急事態宣言の延長に伴い、延期されたため、寒い中での実施となりました。

でも、子ども達は元気に活動しました。1日目、午前は尾幌研修センターでの長縄跳びや手作りアイスづくり、午後は、ネイパル発着で本町のフォトラリー、夜は人間知恵の輪。そして2日目は、真龍小で車いす体験と、どの活動も意欲的に取り組んでいました。

今回の宿泊研修のスローガンは、「安心安全で元気に楽しもう！」でした。共に参加する中で、子ども達がこの言葉を意識しながら様々な活動を行っていました。この心がけが、子どもたち一人一人を一回り大きく成長させたようです。



全集中の日 テストスタイル編

9月から取り組んできた、真小テストスタイルも終わりを迎えます。これまでに、テストがある毎に、「①名前」「②空欄なし」「③正しい字→字・文・記号・数字」「④単位」「⑤その他」を確認することで、見直しの力をつける取り組みを行ってきました。この結果については、今後アンケートを実施し、考察したものをお便りでお知らせします。

毎日ストレッチ開始

12月6日(月)より、毎日ストレッチの取り組みが開始されます。これは、新体力測定の結果から、柔軟性に課題があることが明らかとなり、その改善に取り組みます。学級ごとに、1日5分を目安にストレッチを行い、3週間をかけて児童にストレッチの習慣化を図ります。この活動が、子どもたちの意識改善の一端になればと思います。

面談へのご協力ありがとうございます

今年度2回目の面談が行われます。保護者の皆様におかれましては、大変忙しい中ではありますが、日程を調整していただき、ありがとうございます。この機会を利用し、家庭と学校の連携を深めることができるよう、取り組みを進めてまいります。

全国学力学習状況調査の結果について

5月に行われた全国学力学習状況調査の本校の結果についてお知らせいたします。

見方 ◎:よくできている問題 ▼:つまづきの多い問題

国語

(知識及び技能)

▼文の中における主語と述語との関係。

▼主語と述語・修飾と被修飾との関係、指示語・接続語の役割、段落の役割

(思考力、判断力、表現力等「読むこと」)

▼目的を意識し、要約すること。

▼目的や意図に応じて簡単に書くこと、事実と感想、意見とを区別して書くこと

▼目的に応じて、必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。

算数

(知識及び技能)

◎条件に合う時刻を求めること。

▼三角形の面積の求め方。

(思考力、判断力、表現力等)

◎速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係。

▼基準値を1としたときの比較量が示す意味の説明。

▼複数の図形を組み合わせた平行四辺形の面積の求め方。

実施の結果、よくできている点や多くのつまづきなどが明確になり、課題の詳細も明らかとなりました。

解答状況を見ると、国語・算数で問題文が長くなると問われていることが理解できていない傾向にありました。記述式の問題では、聞かれていることに正対していない解答が多くありました。

この結果を受け、学校では、自分で考えたことを文章に表す機会を増やし、自分なりに問題の解決方法を考えたり、大事なキーワードを使ってまとめたりすることを通して、学習したことをより深められるよう授業を改善していきます。

真龍小学校便り おすすめ本(R3.12月号)

『ぼうしくんのクリスマスプレゼント』

新井 洋行 (角川書店)

真龍おはなし隊 中井 弥佳

もうすぐ皆さんが楽しみにしているクリスマスがやってきますね。クリスマスと聞くだけで心がワクワクして「プレゼントは何がもらえるんだろう〜♪」と今から心待ちにしているお子さんも多いのではないのでしょうか？

また、コロナ禍ということもあり、おうちでクリスマスを過ごされるご家庭がほとんどではないかと思えます。

この「ぼうしくんのクリスマスプレゼント」は、真っ暗なクリスマスの夜にぼつんと置かれた赤いぼうしくんが主人公。そこへ「えーん、えーん、今日はクリスマスなのにひとりぼっち。だれもプレゼントをくれないよ」と動物たちがやってきます。

「泣かないで。クリスマスプレゼントにぼくのぼんぼんかざりをあげるよ。」と、ぼうしくんは自分の体を動物たちにプレゼントして、ついに目だけになってしまっ...

心優しいぼうしくんがいったいどうなるのか、展開にドキドキ。みんなひとりぼっちじゃないよ！とぼうしくんが教えてくれるとても心があたかくなる一冊です。

ぜひ、絵本を通して、親子で心がほっこりするおうちクリスマスをして！！

